

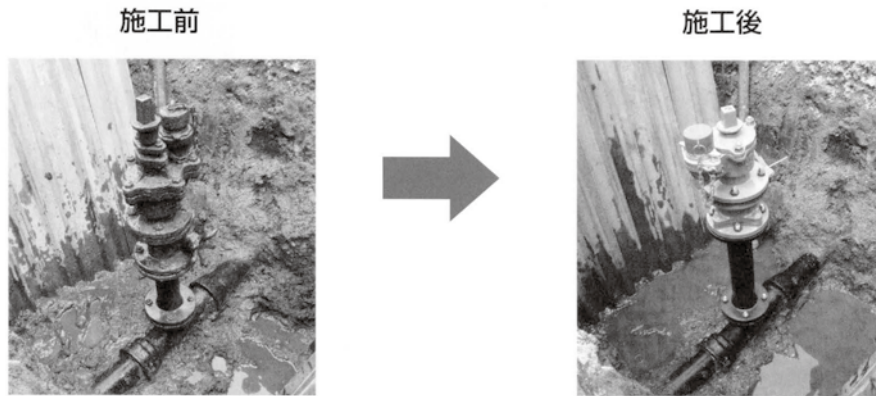
リニューアル工法

不断水補修弁取替工法（パンタグラフ式・ナイフゲート式・タンク式）

不断水補修弁取替工法は、古くなった補修弁を断水せずに新しい補修弁に取り替える工法です。

大成機工が開発した3方式の施工方法を用いると、あらゆる現場に対応でき、補修弁の無い管路の空気弁・消火栓も取り替えられます。

また、浅層埋設対応型の消火栓・空気弁の使用時や、土被りの変更により、本管との間の短管を取り替える際も、不断水での取り替えが可能です。



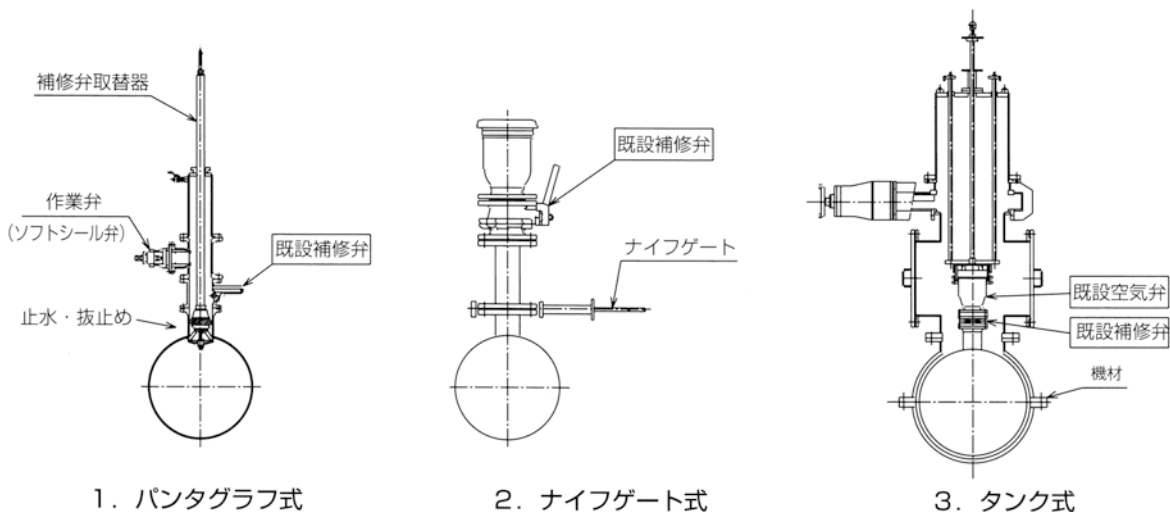
特長

- 操作不能の補修弁や、補修弁が無い空気弁や消火栓でも不断水で施工できます。
- 分岐部のみを機械的に止水しますので、本管の流れに影響を与えず、安全かつ確実に施工できます。
- 空気弁等からの漏水中でも施工できます。
- ほとんどの現場は、大掛かりな機材を使用せず小さな作業スペースで施工できます。
- 分岐内面の錆こぶ除去も行います。
- 分岐首部の漏水補修にも対応できます。
- 0.75MPa以上の高圧でも施工できます。※施工可能圧力はお問い合わせ下さい。

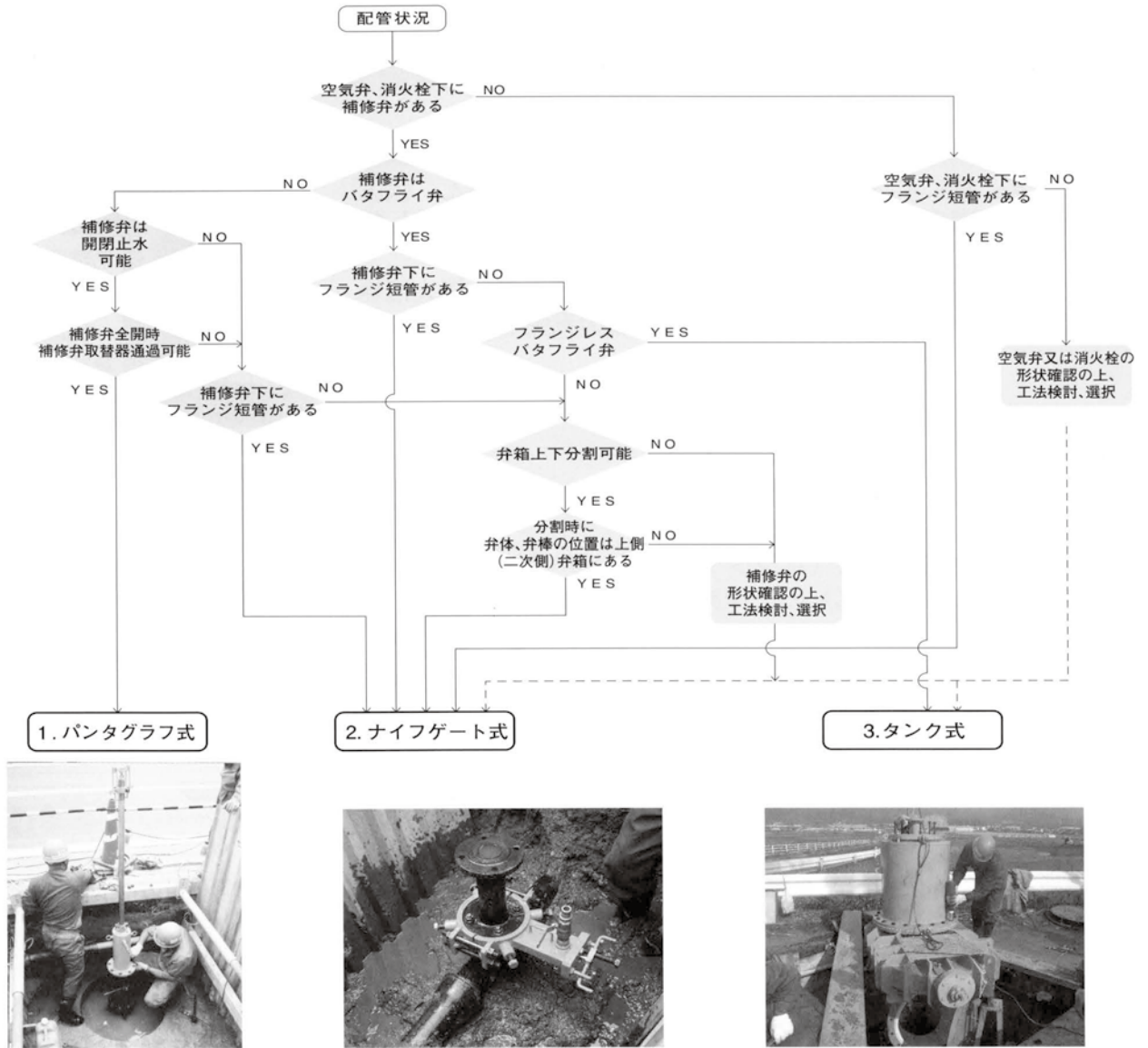
仕様

- サイズ：補修弁サイズまたは分岐口径 呼び径75・100・150・200
- 適応管種：鋳鉄管、鋼管、ステンレス鋼管
- 適応箇所：水管橋、露出管、埋設管等に設置されている補修弁、空気弁、消火栓

3方式の施工方法

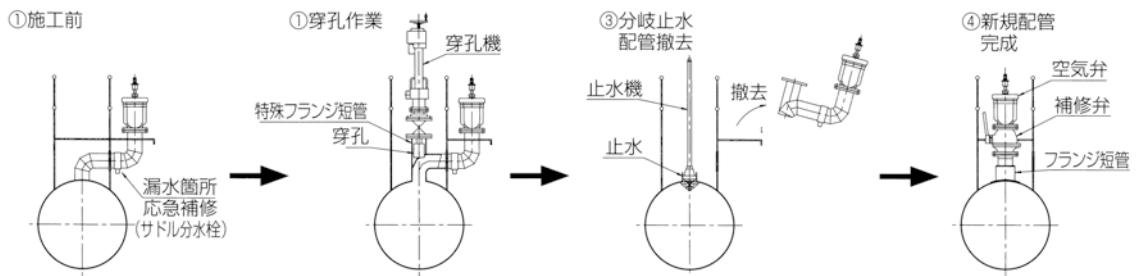


3方式選択フロー図

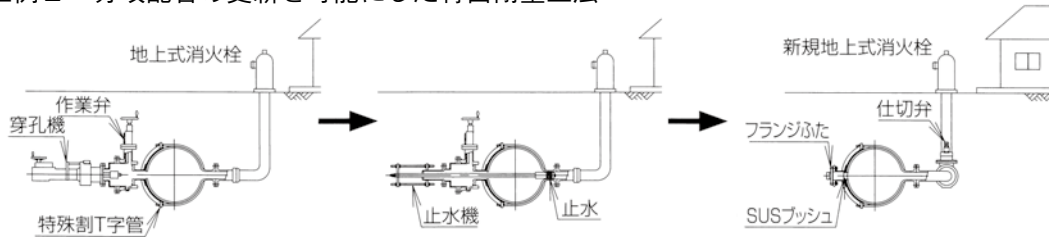


応用工法

施工例Ⅰ 水管橋取り出し管の漏水補修と補修弁取替工法



施工例Ⅱ 分岐配管の更新を可能にした背面閉塞工法

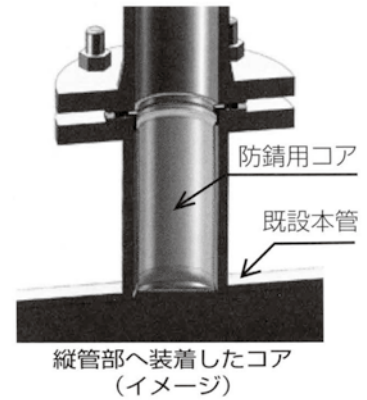


リニューアル工法

不断水防錆工法

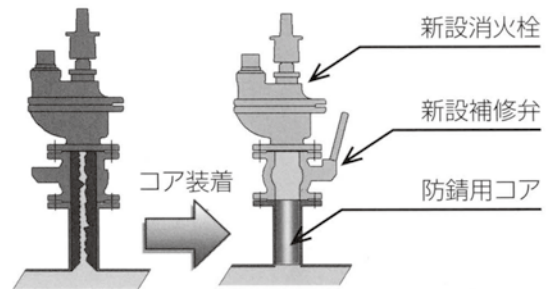
消火栓や空気弁の下に位置する縦管部は錆が発生しやすい環境にあります。錆によって縦管部が縮径したり、閉塞すると、火災発生時など有事の際に水が出なかったり、空気弁として機能しないおそれがあります。

この縦管部に不断水で防錆用コアを装着することで、消火栓や空気弁が将来的にも機能発揮できるよう、錆の発生を防ぎます。



特長

- 不断水補修弁取替工法（パンタグラフ式、ナイフゲート式、タンク式）の一連施工で短時間で施工が可能です。
- 防錆用コアはSUS316製であり、耐食性に優れています。

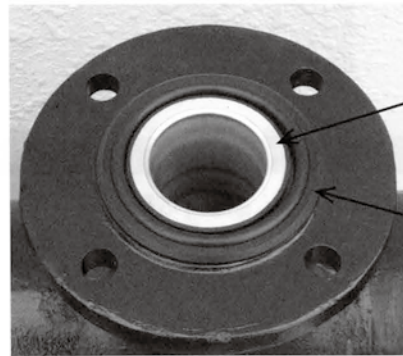


仕様

- 縦管部に溜まった錆こぶを不断水にて清掃除去（管外排出）した後、防錆用コアを挿入し、上端・下端を拡張して縦管部に一体化させます。



錆こぶ



コア固定用パッキンにより、防錆用コアを縦管部に確実に固定します。



防錆用コア (SUS316)



コア固定用パッキン

- ① フランジリング (合成樹脂)
- ② 固定金具 (SUS316・SBR)
- ③ GF形ガスケット1号 (SBR)